

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月20日

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	十和田市												
計画の目標	大規模地震において下水道が有すべき機能の必要性や緊急性から、緊急的に耐震性の向上を図るべき施設について耐震化を実施することにより、下水道としての基本的機能の確保を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,757	A	2,757	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	処理場における改築更新の達成率を1.9%(H28)から17.3%(H32)に増加させる。 改築更新の達成率 改築更新済みの施設及び設備(箇所)/改築を行うべき施設及び設備(箇所)	2%	10%	18%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	H32				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処理場	改築	処理場 A-1	消化槽(機械・電気 N=1式)	十和田市						410		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処理場	改築	処理場 A-1	消化槽(機械・電気 N=1式)	十和田市							271		策定済
		ストックマネジメント																		
	A07-003	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処理場	改築	処理場 A-2	管理棟本館	十和田市							475		策定済
		ストックマネジメント																		
	A07-004	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処理場	改築	処理場 A-3	浮上濃縮棟	十和田市							431		策定済
		ストックマネジメント																		
	A07-005	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処理場	改築	処理場 A-4	ガスホルダー	十和田市							270		策定済
		ストックマネジメント																		
	A07-006	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処理場	-	調査・設計等 A-5	ストックマネジメント計画等	十和田市							166		策定済
		種別2:全種、ストックマネジメント																		

A 基幹事業

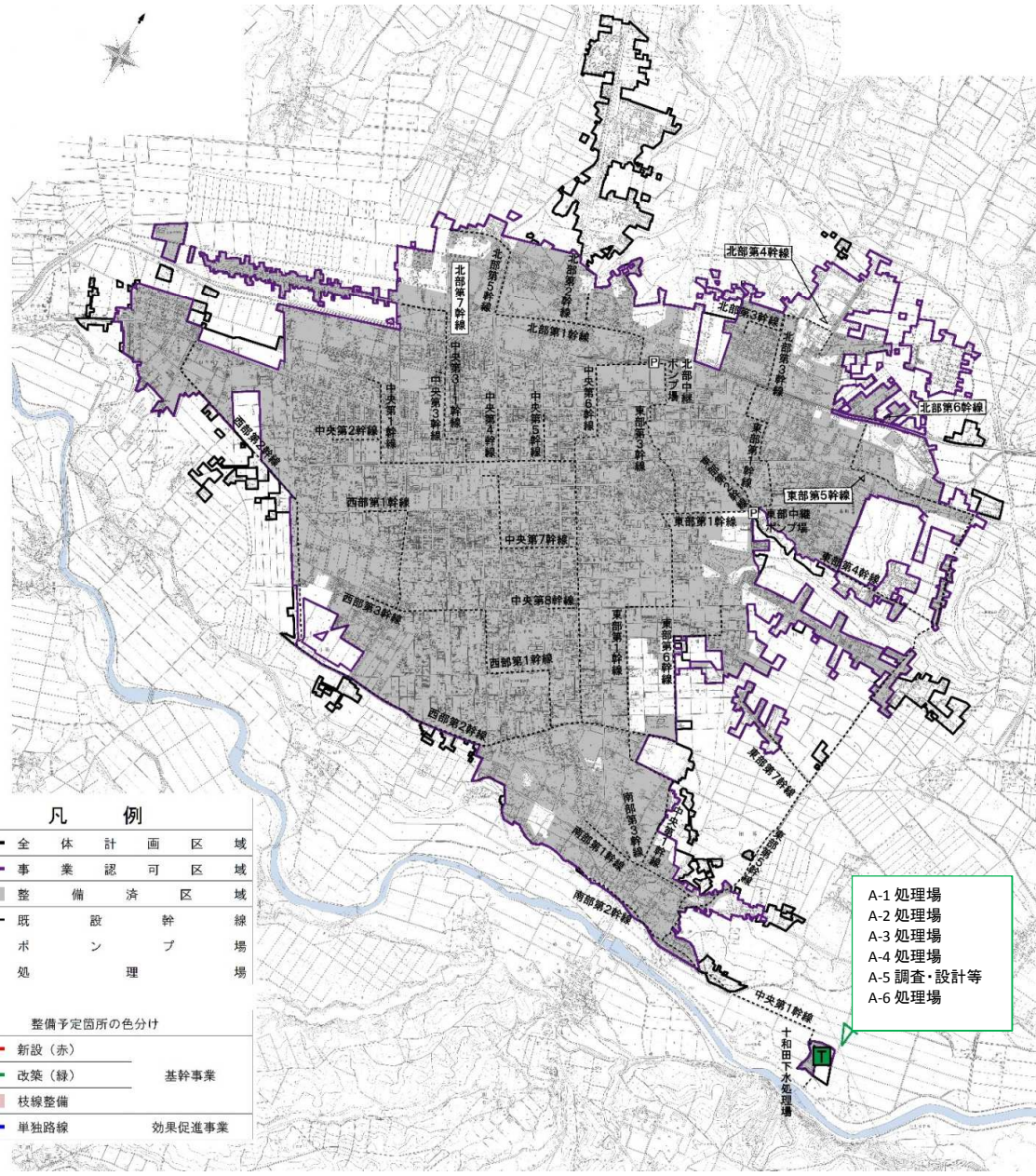
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処理場	-	処理場 A-6	管理棟本館耐震補強	十和田市						734		-
種別2:増設																			
											小計						2,757		
											合計						2,757		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	213	226	171		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	213	226	171		
前年度からの繰越額 (d)	42	76	37		
支払済額 (e)	179	265	127		
翌年度繰越額 (f)	76	37	81		
うち未契約繰越額(g)	76	37	81		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	29.8	12.25	38.94		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	埋蔵物撤去の工法選択及び設計積算に不測の日数を要したため。	埋蔵物撤去の工法選択及び設計積算に不測の日数を要したため。	設備の老朽化度合による更新計画の見直しに不測の日数を要したため。		

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度 (5年間)	交付対象	十和田市



事前評価チェックシート

計画の名称： 十和田市の下水道における防災・安全対策の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 下水道事業計画に基づく施設整備は概成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 効率的な管理・運営と地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした処理場におけるストックマネジメント計画の目標を立てている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ストックマネジメント計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は処理場におけるストックマネジメント対策状況を的確に捉えており、効率的な管理・運営に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 基幹事業のストックマネジメント対策等により、施設の安全な管理・運営を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

他事業である集落排水事業，合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すとしている。

○